
釣られた高校生の異世界巡り

葉月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

釣られた高校生の異世界巡り

【Nコード】

N7943N

【作者名】

葉月

【あらすじ】

ある日、釣られた。いや、そのままの意味で。

普通に生きていた高校生・八代 恋（男です）は好奇心のせいで異世界に行ってしまう。そこで出会う人たちと、時には友情したり、時にはいい感じになったりと……。そんなこんなで生きてく話。

ブローグ

俺の日常は変わらないものなのだと思ってた。

だって普通はそう思うだろう？　いつかヒーローになって、世界を救う。そんなことはないのだとさすがにわかる年齢だ。

だから、あんな形で日常が変わってしまうんだなんて、絶対に思わない。

まさか、コンクリートに溺れるだなんて

遡ること数分前。

いつもどおり幼馴染との帰り道で、買い物があるからここでお別れね。と、言われ一人で帰っているところで。

きらん。ん、百円玉？ラッキー♪ジュースでも買おう……違

うな。百円じゃない。スイッチ？

あつたのは銀色の丸いスイッチ。

なんでこんなところに？いや、そんな疑問はどうでもいい。これは押すしかないな、人として。それ、ポチッとな♪

ズガンー！！　ブウウウウウウン

……ナンカヤバクネ？離れよう。

ゴゴゴゴゴゴゴゴ！！！！

ちよっ、なにこれ地面が液化化してんですけど！？　やべえやべえこっち来る！うわ、やばっ

ザッパーン!!

がぼぼぼ。い、息できねえ。つつか視界全部グレーで気持ち悪
る！は、早く上がらなきゃ。ん？なんか服に引っ掛かって…うわあ
あ、引っ張られるー。

……………そこには鞆だけしか残されていなかった。俺、八代 恋
はこの世から消え去った。

第一話 ……釣られた（前書き）

どうも初めての小説です。思いつきで書いたので構想とかほとんど考えてません。最低ですね。はい。いろいろ手直しとかもすると思うのですが、よろしくお願いします。

第一話 ……釣られた

A r u m a サイド

気持ちのいい朝でした。こんな日はいいことが起こりそうな気がします。

うーんいい天気だなあ。こんな日には森に出かけようかな。その前に顔を洗って、朝ごはんを食べなければなりません。

ぱしゃ。冷たい水がまだ少し眠かった体を覚まします。今日の朝ごはんはムムのパン、パサリンとピリカのサラダにナナツのジュース、あとデザートのラクの果実。いつもよりちょっと豪華。

着替えてお昼ごはん持って、森の動物のために櫛を持って…釣りなんかもいいですね。さあ、準備は完了

「いつてきます。お母さん」

返事は返ってきません。もうお母さんはいませんから。でもいつてきますは必ず言います。お母さんはきっと私を見守ってくれているから。



「みんな、おはよう。」

【おはようアルマ】

【今日はなにをする？どこにいくの？】

【遊んで遊んでアルマ】

いつもの通り《みんな》が私に話しかけてきます。

「今日はね、釣りに行こうと思うの。みんなもやる?」

【うゝ釣りなんてできないよー】

「あ、そうだったね。ごめんごめん」

そうでした。《みんな》は力がとても弱くてララクの実も持ち上げられないくらいなのでした。

湖に到着。今日はどんな魚が釣れるのかな。

2 時間経過

……………全然釣れません。どうしてでしょう、今日はいいいことが起こると思ったのにな。次はなにしようかな。《みんな》とどっちが早く家に着くか競争する?でもそれだと私が不利だな。みんなはとても素早っこいから。

【ルマ!アルマ!引いてる!引いてるよ!】

…え!?本当だ。《みんな》に目でお礼をいいながら釣上げようとがんばります。んぐぐ、これは大物です。すごく重くて一人では無理です。

「みんな、手伝って」

【でも、わたしたち力ないし……】

「みんなでやれば大丈夫!ほら、ね!」

【う、うん】

うんしょ、こらしょ、うんしょ、こらしょ。みんなで釣上げようとがんばります。もう一息!!

「みんながんばって。もうすこしだから」

うんしょ、こらしょ、うんしょ、こらしょ。

ザッパーンー！

釣れました！どんな魚さんなんだ……………えええええええええええ！？

な、な、な、なんと釣上げたのは男の人でした。あ、ちよつとかっこいいかも……………じゃなくて！ええとこういうときはどうすればいいのでしょうか。

「み、み、みんな。ど、どうすればいいのかな！？」

【落ち着いてアルマ。まず生きているのか確かめなくちゃ】

そ、その通りでした。胸に耳を当てて心臓が動いているか確かめます。……………よかった、動いています。

「えつと後は、後は」

R e n サイド

ん、ここは……………？なにがどうなって

そうだ変なスイッチ押したらコンクリートが液化化してこっち向かってきて、溺れて、それで……………？そう、服が引つ張られてその後意識が。

どこ、ここ。森？通学路だったはずだよな。あんな状況だったし……………異世界とか。最近よくあるよね。ラノベとかで。

「　　つと後は、後は」

……おろおろしてる女の子が目の前にいた。変わった格好した子だな。

「全身濡れてるからまず身体を拭く？でも男の人だしなあ、勝手に触るのはマズイかな。えっとえっと、じゃ、もう一回湖に戻して……」

「戻すんかい!!」

な、なにを言い出すんだこの子は。もう一回突き落とすなんて。

「わああ!あ、め、目え覚ましてたんですか!？」

「あ、ああ。君が助けてくれたのか？」

「助けた?ええと、私は釣りをしてて……」

釣り?　スイッチを押す↓コンクリに溺れる↓抜け出そうとする↓
↓なんかに引っ張られる↓そして……学ランの襟に釣り針。

……

「お前のせいなああああ!!!!!!」

「ひ!?え?え?なんですか!？」

そう、ここはたぶん異世界だ。ラノベでも漫画でもなくゲ・ン・ジ・ツでだ。

俺は釣られて異世界にやってきた。連れられてじゃなくて釣られて。最悪だ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7943n/>

釣られた高校生の異世界巡り

2010年10月9日13時20分発行